



平成 28 年 7 月 29 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 三 ツ 知  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 村 瀬 修  
 (JASDAQ・コード番号:3439)  
 問 合 せ 先 常 務 取 締 役  
 経 営 企 画 室 長 樋 口 哲 也  
 (TEL 052 - 798 - 1126)

平成 28 年 6 月 期 の 業 績 予 想 と 実 績 値 と の 差 異 に 関 す る お 知 ら せ  
 及 び 配 当 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 28 年 1 月 29 日付当社「平成 28 年 6 月 期 の 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ」において発表いたしました平成 28 年 6 月 期 通 期 (平 成 27 年 7 月 1 日 ~ 平 成 28 年 6 月 30 日) の 連 結 及 び 個 別 の 業 績 予 想 と 本 日 発 表 の 決 算 に 関 して 差 異 が 生 じ ま し た の で、お 知 ら せ い た し ま す。  
 また、配当予想についても修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想と実績値との差異について

平成 28 年 6 月 期 通 期 連 結 業 績 予 想 数 値 と 実 績 値 と の 差 異 (平 成 27 年 7 月 1 日 ~ 平 成 28 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	百万円 13,684	百万円 756	百万円 826	百万円 605	円 銭 239.30
今 回 実 績 値 ( B )	13,380	612	621	△24	△9.84
増 減 額 (B-A)	△303	△143	△205	△630	
増 減 率 (%)	△2.2	△19.0	△24.9	—	
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 6 月 期)	13,703	741	856	516	204.14

平成 28 年 6 月 期 通 期 個 別 業 績 予 想 数 値 と 実 績 値 と の 差 異 (平 成 27 年 7 月 1 日 ~ 平 成 28 年 6 月 30 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	百万円 10,373	百万円 366	百万円 260	円 銭 102.88
今 回 実 績 値 ( B )	10,130	213	△306	△121.22
増 減 額 (B-A)	△242	△153	△567	
増 減 率 (%)	△2.3	△41.8	—	
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 6 月 期)	10,714	324	112	44.44

## 修正の理由

### ・連結

売上高は、国内において、本年 1 月の自動車部品メーカーの事故や、4月の熊本地震、5月の一部車種の燃費問題による自動車生産の停止の影響を受け、減収となりました。海外においては、東南アジア諸国・中国の景気減速や、急激に進む円高の影響により、タイ・中国共に受注状況が厳しくなっております。さらに米国においても、年明からの景気減速により、受注の増加幅が減少しつつあります。以上の理由により前回予想を下回りました。

利益面につきましては、国内受注の減少、および急激に進む円高の影響により、円換算ベースでの海外現地法人の利益が減少すること、並びに海外の景気減速の影響に伴う利益の減少により、営業利益、経常利益は前回予想を下回りました。さらに、本日開示いたしました本社所有不動産の減損損失(特別損失)の影響もあり、当期純利益は前回予想を大幅に下回り赤字計上となりました。

### ・個別

個別業績における売上高につきましては、自動車部品メーカーの事故・地震・生産調整の影響による国内受注の減少、および急激に進む円高の影響により、前回予想を下回りました。

利益面につきましては、減収および急激に進む円高の影響並びに、本日開示いたしました、本社所有不動産の減損損失(特別損失)の影響もあり経常利益、当期純利益共に前回予想を下回りました。

## ● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成 27 年 7 月 31 日 発表)	—	30.00	—	40.00	70.00
今回修正予想	—	—	—	20.00 (普通配当 20.00)	50.00 (普通配当 50.00)
当期実績	—	30.00	—		
前期実績 (平成 27 年 6 月 期)	—	15.00	—	45.00	60.00

### 修正の理由

当社は、配当につきましては、株主利益を第一に尊重し、継続的な成長に必要な内部留保とのバランスを考慮しながら、配当性向についても中長期で連結配当性向 30%を目標として配当を行うよう努めてまいることをご基本方針としております。

当期業績につきまして、特別損失を計上したことにより当期赤字計上となりましたが、経営実態や資金調達に大きな影響がないと判断し、期末配当につきましては、1株当たり 20 円、年間配当金は中間配当金の 30 円と合わせまして、1株当たり 50 円に修正させていただく予定であります。

### [業績予想に関する注意]

上記の業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき弊社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知置きください。

以上